



# 中国支部連絡協議会便り

## 幅広く連携し、防災力向上に貢献

### 広島・岡山・山口・鳥取の代表が集う

中国方面に新たに「中国支部連絡協議会」が発足。10月14日、広島市・西区民文化センターで、橋本茂事務統括を中心にその発足式が行われた。



橋本事務統括を中心に、各県の状況を報告。活発に協議を重ねた

中国方面の防災士会各県支部が連携し、幅広く災害・救援に対応していくための「中国支部連絡協議会」が10月14日、広島市・西区民文化センターに、中国4県の県支部代表が集って発足した。これには本部の橋本茂事務統括が出席、新出発する各県支部の活動に期待を寄せた。

冒頭、地元の箱上恵吾広島県支部長が挨拶。「大きな災害にあつては、互いが連携して対応することが急務となる。この連絡協議会が、地域の防災力向上に貢献していく」と語った。橋本統括は日本防災士会の現況について紹介。防災士がスタートした平成15年10月22日から、今年で10年を刻むことから、10月に仙台市で日本防災士機構の主催による記念の「市民防災の集い」が開催される。さらに「日本防災士会」が発足した平成16年10月から明年で10周年を迎え、その意義を込めて記念の行事を検討したいと語った。また、全国の防災士認定数が68422名となっているが、日本防災士会員数は5160名であり、加入の呼び掛けをどう推進するかという直近の課題を指摘。しかし「3・11」以降、日本防災士会への講演依頼は急速に増加しており、ますます防災士に対する社会的役割と存在感が高まっていると強調した。

会長	箱上 恵吾	広島	幹事	馬場崎 仁	鳥取
幹事	彦阪 勝則	岡山	幹事	岸田 孝之	鳥取
幹事	山本 晴彦	山口	事務局長	野村克己	広島
幹事	幸坂 美彦	山口	(会計を兼務)		
幹事	黒田 敏博	鳥取	監査役	藤原和正	岡山

## 25年度役員

このあと、各県が報告。岡山県の藤原和正支部長、彦阪勝則事務局長からは「今後は講演依頼に対応できる人材の育成が課題」と結んだ。



新たに発足した「中国支部連絡協議会」

え、対応できる支部連絡協議会となってもらいたい」と結んだ。さらに「規約」と役員について協議(役員は別項に掲載)。今後、各県が連携を深め、協議を重ねながら、地域防災に取り組んでいくことを確認し合った。

「鳥取県の馬場崎仁理事、岸田孝之事務局長からは「さらに保育園での防災指導に力を入れていきたい」。

また、山口県の幸坂美彦事務局長からは「学校防災アドバイザーとして既に県内600校で推進。専門委員として今後、取り組みたい」。広島県の箱上恵吾支部長・野村克己事務局長からは「講演依頼が相次ぐ状況のなか、手分けして講師を担当している」と状況が報告された。